

令和 8 年 9 月定例市議会市政報告

令和 8 年第 4 回釧路市議会 9 月定例会の開会にあたり、6 月定例市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

報告の第 1 は、「**大楽毛南 4 丁目避難場所の供用開始**」についてであります。

本年 7 月 7 日より、津波や洪水等が発生した場合に、地域住民等の一時的な避難先となる「大楽毛南 4 丁目避難場所」の供用を開始し、7 月 10 日には、避難場所の整備にご尽力、ご支援をいただいた関係者の皆様や地域住民の皆様による完成記念式及び内覧会を実施したところであります。

本施設は、避難場所として整備したものですが、避難場所としての機能を妨げない範囲での平常時の活用が可能であることから、8 月 1 日より老人クラブのサークル活動や民生委員児童委員協議会等の会議などに利用されており、8 月 31 日現在で 21 団体が延べ 72 回利用されているところであります。

また、8 月 23 日には地域住民を対象に釧路市防災士ネットワークによる訓練も実施したところであります。

今後につきましても、地域住民の皆様が防災訓練などで積極的に利用していただくことにより、防災意識の向上に寄与するものと考えております。

報告の第 2 は、「**粗大ごみ収集受付の電子申請開始**」についてであります。

これまでの粗大ごみの収集につきましては電話のみの受付としておりましたが、8 月 12 日から新たにインターネットによる電子申請の受付を開始いたしました。

これにより、スマートフォンやパソコンから 24 時間いつでも、市のホームページ専用フォームからお申し込みいただけるようになりました。

対象は釧路地区にお住まいの方となります。申し込める品目はホームページに掲載されている電子申請専用のリストとなりますので、リストに掲載されていない品目につきましてはこれまでどおり電話での受付となります。この電子申請の導入により、市民の皆様の利便性向上と業務の効率化を図ってまいります。

報告の第 3 は、「**製材工場の着工**」についてであります。

株式会社サイプレス・スナダヤと中部電力株式会社による新会社、株式会社釧路ウッドプロダクツの製材工場につきましては、本年 9 月、工場新設に向けて本格的に建設工事が開始されます。同社による製材工場につきましては、昨年度、事業計画を一部見直し、集成材工場の整備を取りやめ製材工場のみを整備することとした一方で、生産規模は当初計画と変わらず、操業 3 年目で原木消費量 36 万立方メートルと国内

最大級の規模としております。

今後、工事は2027年の冬頃までを予定しており、試験操業を経た後、2028年4月の商業生産開始を目指すこととしております。

産業振興の面で、地域材の活用による新たな製造や雇用が生まれることを期待しておりますことから、引き続き、工場新設に向けた支援を行ってまいりたいと考えております。

報告の第4は、「**大韓航空による国際チャーター便の就航の概要**」についてであります。

本年7月に、令和元年（2019年）8月以来、約7年ぶりとなる大韓航空のチャーター便が就航いたしました。運航期間である7月15日から8月1日までの間、1便も欠航することなく全6往復10便が予定通り運航され、計857名のお客様を無事にお迎えすることができました。全期間を通じた座席利用率は99.6%とほぼ満席となり、極めて高い成果を収めることができたところであります。今回のチャーター便就航に伴い、大韓航空、各旅行会社、北海道エアポート、地元経済界、宿泊事業者ほか、関係者の皆様のご尽力に改めて深く感謝申し上げます。

今後とも、「ひがし北海道」地域の協力関係を一層強固なものとしつつ、国際チャーター便の就航など外国人観光客の誘致促進に向けてしっかりと取り組んでまいります。

報告の第5は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約143億8,000万円となっており、8月31日現在における発注済額は約122億2,000万円であり、発注率は、約85%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約114億1,000万円、率では、およそ93.3%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約74%、上水道事業で約68%、下水道事業で約90%、住宅建設事業は約91%の状況となっております。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。